

ユーザー権限とは

複数人で管理する場合に便利なのが、ユーザーアカウントの追加です。

WordPress では管理画面の「ユーザー」の「新規追加」で、ユーザーアカウントを増やすことができます。

個々のユーザーごとに「ログイン ID とパスワード」を作ることができ、「管理者」や「投稿者」などの権限を設定することもできます。

【利用例～新人スタッフの山田くん】

新人スタッフの山田君に「投稿」だけできるユーザーアカウントを作成すると...

山田くんのアカウントでログインしても、管理画面は投稿する項目しか表示されません。山田くんのアカウントでは、設定を変更することはできないので、テーマやプラグインの操作方法を知らない山田くんが、誤って重要な設定を変えてしまうなどのミスを防ぐことができます。

【利用例～全員が管理者】

複数人全員が管理者の場合もあるかもしれません。その場合はそれぞれ ID を分けて作りましょう。

もし、そのうちの誰かが辞めた場合に、悪意があればログインすることもできてしまうからです。ID を分けて管理者権限を持たせ、辞めた人がいた場合には、そのユーザーを削除しましょう。

* 投稿やページは複数ユーザーが同時に編集できないようになっています *

A さんが編集しているページに B さんがアクセスすると下記のような注意文が出てきます。



このコンテンツは現在ロックされています。
編集を引き継ぐと A さんは編集を続けられなくなります。

[戻る](#)[プレビュー](#)[編集を引き継ぐ](#)

ユーザー権限の範囲

<管理者> すべての設定変更ができる権限があります。

<編集者>

外観とプラグインの項目が一切表示されません。それ以外はすべて編集できます。過去の記事や固定ページも編集できます。

- ・記事投稿・ページ作成・記事管理・ページ管理・アップロード管理・カテゴリー管理・コメント管理・リンク管理（追加、インポート）
- ・プロフィール変更

<投稿者>

記事の投稿のみ可能です。

- ・記事投稿・記事管理・コメント管理・アップロード管理・プロフィール管理

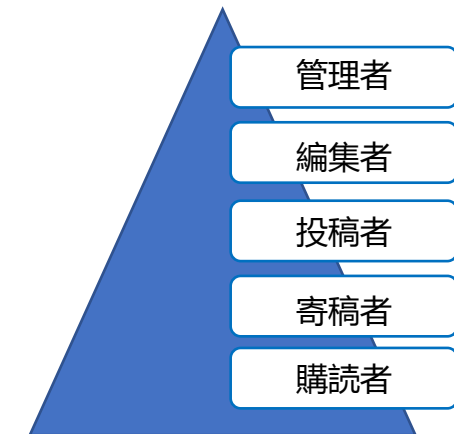
<寄稿者>

記事を書くことが出来ますが、公開されず、編集者以上の権限から承認が必要。

- ・記事投稿（公開権限なし）・記事管理（公開承認後は変更できません）・プロフィール変更

<購読者>

記事を読むことが出来、自身のプロフィールだけ変更できます。



※参考プラグイン...WordPress のユーザー権限ごとの詳細を設定できるプラグインが、[User Role Editor](#)と [User Access Manager](#) です。

詳細はこちらをご参照ください。「100 ウェブ」https://100webdesign.jp/services/wordpress/wp_result/wp_result-21321/